

成功させよう 2012ぎふ清流国体ぎふ清流大会 “いびがわミナモ通信”

ソフトボール競技を紹介します！



揖斐川町では、3月18日(日)から21日(水)、ぎふ清流国体ソフトボール競技のリハーサル大会として、「第30回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会」を開催します。

そこで、揖斐川町で開催されるぎふ清流国体のソフトボール競技を紹介します。

ソフトボールの歴史は、1900年頃のアメリカで「インドアベースボール」として始められたとされています。

野球と同様に1チーム9名の選手からなる2つのチームが、攻撃と守備を交代しながら得点を競い合うスポーツです。

投球

ソフトボールでは投手は打者に対して、野球でいうアンダースローに近い形で投球します。野球のアンダースローと違って、必ず手と手首が体側線を通して球を離さなければなりません。

ダブルベース

ソフトボールでは、一塁でのクロスプレーが多く、時に大げなことがあるありました。そのため、一塁ベースだけ、白色とオレンジ色、半分に色分けされた横長のベースを使用しています。

打者は、投球を打ったとき、または、第3ストライクでの落球で一塁に走り、一塁でプレーが行われるとき、打者走者は、フェア地域に固定のオレンジ部分を走り抜け、守備者は、フェア地域にある白色の部分を使用します。

離塁アウト

ソフトボールでは、投手の手からボールが離れるまでは、走者は塁を離れることはできません。もし塁を離れるとその走者にはアウトが宣告されます。

このため、投手の投球モーションを盗んで盗塁することはできず、投手が投げた後に盗塁することは、バッテリーにミスがない限りなかなか成功しません。

タイブレーカー

試合は7イニングで行われ、7回終了時に同点の場合は、8回からタイブレーカーにより試合を継続します。

タイブレーカーとは、ノーアウト、走者2塁を設定して、攻撃を継続します。打者は前の回から引き継ぐものとし、走者は前の回の最終打者となります。裏の回も同様に行われ勝敗がつくまで行われます。



▲腕を大きく1回転させ、遠心力を利用して得られる投球スピードは大迫力です。



▲塁間の距離は野球の約3分の2で、全ての面でスピーディな試合展開が見られます。



▲短い投球距離でのスピードボールをどう打ち返すか、バッティングにも注目です。

リハーサル大会の詳細は、
次回広報3月号をご覧ください

揖斐川町オリジナルピンバッジができました！

みなさんに大人気のピンバッジに新しいミナモが仲間入りしました。

現在までカヌー競技、ソフトボール競技、グランドソフトボール競技などのピンバッジが販売されていますが、このたび揖斐川町オリジナルのピンバッジとして「谷汲踊」のミナモピンバッジができました。

役場1階町民ホールにて展示されており、販売もしています。皆さんもぜひお買い求めください。1個200円(税込)。

【お問い合わせ先】 国体推進局 Tel.22-2111 (内線141)

